

龍勢



自立 共生 郷土愛
～自分らしく輝く子～

藤枝市立朝比奈第一小学校

令和3年度 学校だより

令和3年12月22日 第19号

打ち上げよう！自分の夢、目標・・・

11月13日（土）に、朝比奈大龍勢の打上が行われました。昨年予定されていた打上がコロナの関係で中止となり、今年の打上は、無観客での開催となりました。



今年、朝一小的の打上の担当は、西ノ平龍勢連でした。西ノ平龍勢連の皆様には感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。傘づくりや口上指導など、みんなにいろいろなことを教えてくれました。休みの日や夜も、竹を切ったり、火薬を詰めたりと、みんながいない時も、朝一小的の龍勢がしっかりと打ち上がるように頑張ってくれました。いつも、朝一小的を担当する連には大きなプレッシャーがかかるようです。「子供たちの龍勢はしっかりと打ち上げなければならない」と思ってくれています。みんなはとても幸せです。そういう地域の皆さんに見守られているのですから。

今年、朝一小的の打上の担当は、西ノ平龍勢連でした。西ノ平龍勢連の皆様には感謝、感謝の気持ちでいっぱいです。傘づくりや口上指導など、みんなにいろいろなことを教えてくれました。休みの日や夜も、竹を切ったり、火薬を詰めたりと、みんながいない時も、朝一小的の龍勢がしっかりと打ち上がるように頑張ってくれました。いつも、朝一小的を担当する連には大きなプレッシャーがかかるようです。「子供たちの龍勢はしっかりと打ち上げなければならない」と思ってくれています。みんなはとても幸せです。そういう地域の皆さんに見守られているのですから。

今年の打上には、どの連も苦勞したようです。二年に一度の打上が一年延びて三年ぶりだったこと、開催も例年より一か月遅かったこと（空気の乾燥具合が火薬に影響を与えるようです）、火薬が変わったこと……。コロナの関係で、13ある連のうち、2つの連は参加することもできなかったということです。

当日の打上は、参加した11の連のうち、成功したのは2つの連。9つの連が打上に失敗し、傘が開かなかったり、途中で火薬が爆発したり……。今年の上りがいかに大変だったのかがよく分かります。

みんなも朝一小的の傘が開かなかったことは、とても残念に思ったかもしれませんが、それ以上に悔しい思いをしているのは西ノ平龍勢連の皆さんだと思います。「子供たちの龍勢は必ず……」という思いで準備をしてくださったわけですから。

今年は、いろいろな理由で打上に失敗してしまった連が多かったわけですが、どの連の皆さんも「何が悪かったのだろう？」ということを考え、「次こそしっかりと打ち上げる！朝比奈大龍勢の伝統・文化を必ず次の世代に引き継ぐ！」と

決意を固めています。きっと、次の朝比奈大龍勢の打上では、多くの観衆の前で、どの連も立派な大龍を大空に描くことでしょう。

みんなも今まで失敗してしまったことはたくさんあるでしょう。失敗して失敗の原因が何だったのかも考えずに、がっかりするだけで、元気をなくしてしまうことはいけません。大切なのは、「何くそ！負けるものか！」「次こそ頑張るぞ！」と思う気持ちです。

今回の打上では、みんなの夢（傘）は開くことはできませんでしたが、それでみんなの夢が叶わないというわけではありません。これからしっかりと、自分の心の中で大龍勢を打ち上げ、夢や目標が大きく開く（叶う）ように頑張っていきましょう。いつも自分の心の中で口上を歌っていきましょう。

明日から始まる冬休みでは、しっかりと令和3年を振り返り、新年（令和4年）になったら「自分は〇〇を頑張る！」と誓いを立てましょう。



充実した冬休みに！



- 1 うがい・手洗い・換気・マスクの着用・アルコール消毒等、コロナやインフルエンザへの対応を確実にを行う
- 2 外出した際の行動履歴を把握しておく（外出先の感染状況を把握する）
- 3 規則正しい生活を心がけ、体調管理に留意する
- 4 一年を振り返ると共に、新年の誓いをしっかりと立てる
- 5 火遊びは絶対にしない
- 6 お金の使い方に気をつける
- 7 家族の役に立つ手伝いをする
- 8 親戚や地域の人にしっかりとあいさつをする
- 9 計画的に学習に取り組む



～保護者・地域の皆様へ～

2学期は、コロナ対応に気を配りながらも、音楽会、大龍勢打上や社会科見学などの多くの行事を実施しました。また、日々の授業を通じて多くのことを学び、実り多い学期でした。大きな事故や事件もなく、2学期を終えられたことを大変うれしく思います。ありがとうございました。

3学期も教職員一丸となって、教育活動に全力で取り組みます。それでは…

良いお年を
お迎え下さい